

子ども家庭の「困り」を考える——ソーシャルワークの視点から——

21世紀になって格差社会が進行し、日本社会でも多くの問題が顕在化しています。そこには、行政的な取り組みの不十分さや個々の家族関係に内包された諸問題、また市場経済の競争原理などが作用して、制度・家族・市場のすき間からもれ落ち、抜け出せなくなった数多くの存在があります。これらの諸問題は相互に連鎖し、負の循環を生みながら、個々の内面では自己肯定感を喪失させたり、社会的には多くの存在が不可視化され、公共的な関心やセイフティネットの対象外となっているのが実状です。こうした複合的な排除の問題に対して、私たちはいかに向きあつたらよいでしょうか。

男女共同参画推進本部では、すでに2015年11月に「若者の貧困問題とジェンダー ——複合的な排除の現状——」と題して、これらの問題に取り組んできました。コロナ禍を経験している現在、その状況はどのように変化したといえるのでしょうか。今回は、本学社会科学講座に所属し、子ども家庭福祉や学校におけるソーシャルワークを専門に研究・実践して来られた梅山佐和さんに「子ども家庭の『困り』を考える——ソーシャルワークの視点から——」と題してご講演いただきます。コメントは、2015年に報告された本学・社会科学講座の山口恵子さんに、ご専門の社会学の視点からお願いいたしました。また、附属国際中等教育学校で養護教諭をされている佐藤晴香さんには、学校現場の状況についてご紹介いただければと思います。

今日、児童・生徒の置かれた状況は複合的であり、それに向き合う教員に求められるものも多様化しています。今回のフォーラムは、コロナ禍に特化した話ではなく、むしろすでに存在するさまざまな問題が、コロナ禍で見えなくなったり、歪められたり、逆に見えるようになっていたりしている状況を、みなさんとできるだけ共有したいと思います。フロアからの活発な参加を期待します。

(男女共同参画推進本部 及川 英二郎)

2021年11月20日(土) 14:00~16:30

講師 梅山 佐和 (社会科学講座 講師)
 コメンテーター 山口 恵子 (社会科学講座 教授)
 佐藤 晴香 (附属国際中等教育学校 養護教諭)

講演後、本学学生と座談会を行います。

オンライン開催(Microsoft Teams ウェビナー)
 ☆学内限定☆ FD研修(申請中)

参加費無料
 事前申込制

右のQRコードまたは下記URLよりお申込みください。

申込締切: **2021年11月19日(金) 13:00**

<URL> <https://forms.office.com/r/F9euDTgNv1>

<お問合せ先> 人事課職員係 TEL: 042-329-7894

E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp

